



学校報「二中の木」



令和6年8月29日(木)

第10号 文責：校長 工藤 真弘

TEL：52-5138

二中若の評価が更にアップ：新たなステージへ



8/3(土)の天空の不夜城に、二中若が登場しました。1年生から経験してきた3年生を中心に、経験値十分の生徒が揃っての運行でした。更に今年は、二中若の踊りを考案してくださった戸松くみ子ダンススタジオの戸松くみ子さんをお招きし、観客の方々も一緒にその場で踊れるような手踊りを一緒に創っていただき、披露しました。

毎年「二中若ってすごいね、元気があって迫力あるね」と多くの方に言われますが、今年は「笛や太鼓、踊りが一体化しているし、音頭上げも声が揃ってるし、上手だね」という感想をたくさんいただきました。本校では役七夕に参加した経験のある生徒が少なく、「上手だね」という評価は、非常にうれしい評価です。

私個人は、平成16年から二中職員として、保護者として、地域住民(住若)として、シャチや灯籠の制作、運行などに関わってきました。おなごりフェスティバルと天空の不夜城を合わせて19回の二中若に関わってきましたが、その中でも非常に完成度の高い二中若だったと思います。校長退職の年に、これほどの二中若を体験できたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。



P T Aや地域の方々の協力も年々レベルアップし、生徒たちが存分にパフォーマンスできる環境が充実してきていることも大きな要因です。今年も畠新若や地域の方々から、実技練習や当日の運行など、全面的にご協力をいただきました。P T Aの方々には太鼓や田楽等の運搬、水分補給や健康管理、交通整理など、多くのご協力をいただき、円滑な運行、安心した運行につながっています。皆さんも「二中若ってすごいね」と言われたら「P T Aや地域もすごいんですよ」と自慢してください。

生徒はパフォーマンスを高めつつ新たな取り組みにチャレンジし、保護者や地域の連携も深まり、二中若は新たなステージへと進む力を蓄えました。それがどんなステージで、どんな姿を見せてくれるのか、来年以降の期待も膨らみます。



田楽のLEDは科学技術高校提供
 一昨年、科学技術高校のご厚意で、
 高校生が製作したロウソクタイプのLED
 を提供していただきました。燃える
 心配がない分、今年も安心して田楽
 のパフォーマンスができました。



台車周りの安全運行に畠新若
 灯籠の安全運行の要、台車の
 舵取り、綱もとなど、経験値が
 必要な箇所には、今年も畠新若
 の方々に協力いただきました。



灯籠台車後方の方々、スピードが出すぎ
 ないようにコントロールする重要な役です

民生委員・児童委員、交通安全協会
 ～ 帰宅の際の見守り活動に協力 ～
 今年も学区の民生委員・児童委員、交
 通安全協会の方々に、生徒が帰宅する際、
 担当地区の交通安全の見守りをしてくだ
 さいました。この方々には他の行事でも
 たくさんお世話になっております。

